

【別紙】平成30年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立安行小学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	まじめな子 あかるい子 がんばる子
目指す学校像	ことば・こころ・いのち 輝く学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	8名
事務局 (教職員)	3名

領域	学 校 自 己 評 価			年 度 評 価 (平成31年1月16日 現在)		
	年 度 目 標			重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
	現状と課題	重点目標	具体的方策			
組織運営	教職員の学校運営への参画意識の向上を図り、若手教員の意欲と経験豊かな教員の経験を組織的な活動の活性化に生かすことが課題である。	○PDCAサイクルに基づく組織的活動の実現	○報告・連絡・相談・確認と共通行動の徹底 ○具体的な行動目標に基づく主体的な所属分掌の取組による参画意識の高揚 ○短期的、中期的なPDCAサイクルの推進	○改善案を次年度に生かすPDCAサイクルに基づく組織的活動を実現することができた。 ○教職員の学校運営への参画意識の高揚が不十分であった。	B	○PDCAサイクルによって教育活動を発展させるシステムを継続していく。 ○各分掌に主体的に取り組み、学校運営の参画意識の高揚を図る。
教育課程	校内研修により、授業の学び合いのスタイルと算数の少人数指導の体制が整ってきた。さらに指導の工夫・改善を図り、学力向上を実現することが課題である。	○学ぶ意欲の向上と授業の工夫・改善による学力の向上 □個に応じた指導による基礎学力の向上	○「考え、話し合い、学び合う学習」の授業研究の実施 ○出前授業や地域の自然や人材の活用、小中の連携による学習意欲の向上 □算数の少人数体制を活用した個々の基礎学力の向上 □放課後や長期休業中の学習サポートの実施	○「考え、話し合い、学び合う学習」の研究によって授業の工夫・改善を進めることができたが、検証が不十分であった。 □個に応じた指導を進めることによって、学ぶ意欲の向上が見られた。	B B	○校内研修を活用して、学び合いの研究を継続するとともに、学ぶ意欲と基礎学力の向上を図る。 □基礎学力を定着させるための個に応じた指導の取組を継続していく。
開かれた学校づくり	保護者のボランティア活動や地域との交流活動が定着してきた。さらにあいさつ運動や放課後の見守りを地域とともに取り組み、家庭・地域の教育力を生かしていくことが課題である。	○積極的な情報の発信と収集 □学校応援団と連携した地域の教育力の活用	○学校ホームページのリアルタイムの更新 ○保護者アンケートの実施と迅速な回答 □ニコニコあいさつデーの推進 □学習支援への地域の教育力の活用	○HPのリアルタイムの更新と保護者アンケートにより情報の発信と収集を行ったが、保護者アンケートではよくできているが68%で、不十分という回答であった。 □保護者アンケートでは、保護者や地域との連携ができていない回答が70%で、不十分であった。	B B	○HPをリニューアルして、教育活動を積極的に発信していく。 □新学校応援団として、保護者や地域と新たな協力体制を築く取組を進める。
教職員の資質向上	初任者や若手教員の計画的な育成と指導力の向上を図ることが課題である。	○校内研修を中心に学び合うとともに、各種の研修による指導力の向上	○校内研修による学び合いと優れた授業の共有化 ○要請訪問と管理職による計画的な若手教員研修の実施 ○県の委嘱を活用した1人1授業研究の実施	○校内研修等を計画的に実施したが、学び合いが不十分であった。 ○若手教員研修や市内の授業研究会に意欲的に取り組んだ。	B	○校内研修を活性化させ、普段の授業を見合って互いに学び合おうとする体制作りや優れた指導法や指導技術のスキルの共有化を図る。
施設・設備等の管理	安全管理の徹底と施設・設備の迅速な修繕を行い、老朽化に対応することが課題である。	○定期点検と日常の安全点検の実施による安全管理の徹底 □学習環境の安全と整備	○定期点検と日常の安全点検の徹底と教職員の危機管理意識の高揚 □迅速な修繕と児童の顔が見える掲示物の作成	○安全管理を徹底し、学校施設・設備の事故は発生していない。 □修繕と計画的な掲示活動により、学習環境の整備を進めることができた。	A A	○小さなことを見逃さないシステムにより、教職員の危機管理意識の高揚を図る。 □施設・設備の老朽化に対応するために、計画的な予算の執行と清掃活動に力を入れていく。

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	平成31年1月17日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
○学校運営が基本である。	
○授業研究発表会の評価を生かしていくことが必要である。 ○道徳性の育成は、先生の指導が重要である。	
□学校応援団を活用してほしい。 □登下校の安全指導に、町会や地域の方のパトロールを依頼する。また、交通安全協会に学校から協力を依頼する。	
○笑顔が多い先生の授業では、児童が楽しそうに学習している。 ○写真や授業内容に関する掲示物、オルゴールをかけて気持ち落ち着かせる工夫等、授業に対する向上心が伺える。良い面を連携させると良い授業が増える。	
□6年生の教室が整理整頓されていて、居心地のよい雰囲気などの教室からも伝わってきた。 □教室の整理や掲示物がとてもよい学級とそうではない学級の差があることが気になる。	